

令和7年度防災情報ネットワーク事業
災害応急用ポンプ購入（ユニット）

仕 様 書

九州農政局土地改良技術事務所

第1章 総 則

本件は、九州農政局土地改良技術事務所における災害応急用の水中ポンプ（ユニット）の納品を行うものであり、納入内容に当たっては、この仕様書によるものとする。

第2章 一般仕様

1. 水中ポンプ（ユニット）

購入する水中ポンプ等の仕様及び数量は次のとおりである。

なお、既存設備（排水ポンプユニット：200LSM-KF）と互換性があるものとする。

数量	: 1 基
概略寸法	①全幅：1600mm
	②奥行：1200mm
	③全高：1500mm
	④主要材料：鋼板製
	⑤構造：天井部4箇所に取り上げ（下げ）可能な吊り金具を取り付けることにより、吊り上げ（下げ）可能な構造とする。フォークリフトで持ち上げることも可能な構造とする。
	⑥総重量：920 kg程度（装備品を含む）

（1）水中ポンプ

数 量	: 2 台
形 式	: 水中モータ駆動ポンプ
口 径	: 200mm
吐出量	: 5.0 m ³ /min/台以上 (標準ストレーナ使用時、全揚程 10mにおいて)
全揚程	: 10m以上
電動機	①形式：乾式水中形同期発電機 ②出力：12kW 程度 ③電圧：400V 程度 ④周波数：60Hz ⑤軸封装置：ダブルメカニカルシール ⑥ケーブル：ポンプ1台当たり 40m以上（防水コネクタ付）
質 量	: 39 kg/台以下（ポンプ乾燥重量とし、フロート、ケーブル、ストレーナは含まない）
主要部材質	①ケーシング：アルミニウム鋳造合金 ②羽根車：ステンレス鋳鋼 ③主軸：ステンレス鋼又は同等品以上 ④モータフレーム：アルミニウム鋳造合金
構造等	①ポンプ吐出口は、ホースと接続することが可能なクランプ式継手が設けられる脱着可能な形状とし、ポンプはホースを介して、2台の直列接続運転が可能な構造とする。

②ポンプは作業性等を考慮した構造とする。

(2) 操作制御盤 : 水中ポンプ(2台を個々)及び照明灯のON・OFF制御が可能で、水中ポンプユニットと一体構造であるものとする。

1) 盤面装備品	①ポンプ「運転」スイッチ	2個	
	②ポンプ「停止」スイッチ	2個	
	③ポンプ回転数調整つまみ	2個	
	④照明灯「入一切」スイッチ	2個	
	⑤非常停止ボタン	1個	
	⑥故障リセット	1個	
	⑦漏電遮断器	1式	
	⑧電圧計	1個	
	⑨電流計	2個	
	⑩回転数計	2個	
	⑪周波数計	1個	
	⑫集合表示灯	1式	
	⑬100V 防水コンセント (防雨型: 許容電流 5A 以下)	1個	
	⑭200V/220V コンセント (防雨型: 投光器専用)	2個	
	⑮発電機供給電源用コネクタ (防水型)	1個	
	⑯ポンプ動力用コネクタ (防水型)	2個	
	⑰接地電極接続端子	1個	

2) 付属品 : 1式 (ユニット1基当たり)

付属品についてはメーカー標準品を基本とするが、以下の付属品を含むものとする。

①ポンプ整備用工具	1式
②低水位用吸込ノズル (ストレーナ付)	2個
③リング型フロート	2個
④吊りチェーン (フロート取付用) 280mm	8本
⑤排水ホース 0.2MPa ϕ 200mm×20m	2本
合成繊維 (円筒織物)、合成樹脂 (内外面樹脂被覆)	
接合材料 (接続形式: クランプ式) 各ホース1本につき1個	
⑥排水ホース 0.6MPa ϕ 200mm×20m	2本
合成繊維 (円筒織物)、合成樹脂 (内外面樹脂被覆)	
接合材料 (接続形式: クランプ式) 各ホース1本につき1個	
⑦接地用電極	1式
⑧電源供給ケーブル (接続コネクタ付(5m))	1本
⑨投光器 (500W×2灯) 200V 用	1式

第3章 塗 装

水中ポンプ及び操作制御盤等の塗装仕様は、メーカー標準によるものとする。

第4章 納入物品の検査

納入物品の検査については、試験成績書による確認、外形寸法及び外観検査を実施するものとする。

なお、検査項目は下表のとおりとする。

検査項目	仕様・規格	検査内容
外観検査	水中ポンプ（ユニット）	塗装にむら、膨れ、亀裂等がないこと
数量検査	水中ポンプ（ユニット）	第2章に示す数量を満足すること
性能検査	水中ポンプ（ユニット）	提出図書（社内検査成績書）が第2章に示す一般仕様を満足すること
試運転検査	水中ポンプ（ユニット）	無負荷状態の運転で、異常な騒音及び振動がないこと

※ 試運転検査においては、九州農政局土地改良技術事務所所有の発動発電機を使用可能である。

第5章 納入場所

納入場所は、九州農政局土地改良技術事務所敷地内（熊本県熊本市東区東町4丁目5-7）とする。

なお、荷卸しに当たっては、九州農政局土地改良技術事務所保有のフォークリフトが利用可能である。

第6章 提出図書等

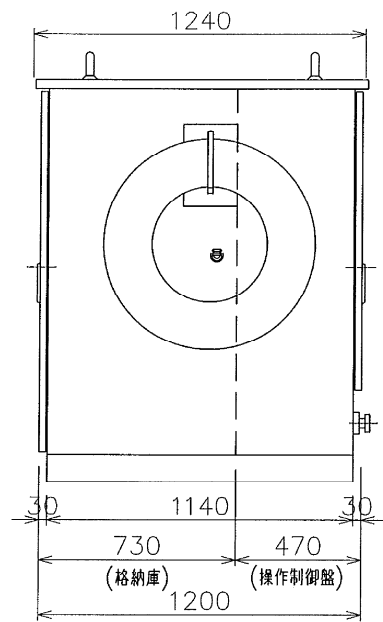
提出図書は、施設機械工事等共通仕様書を参考に作成するものとし、担当職員が指定する日までに次に示す部数を担当職員に提出するものとする。

なお、完成図書の内容及び編集等については担当職員と打合せのうえ作成するものとし、A4版の装丁（簡易ファイル）と電子媒体（CD-R等）1部を合わせて提出するものとする。

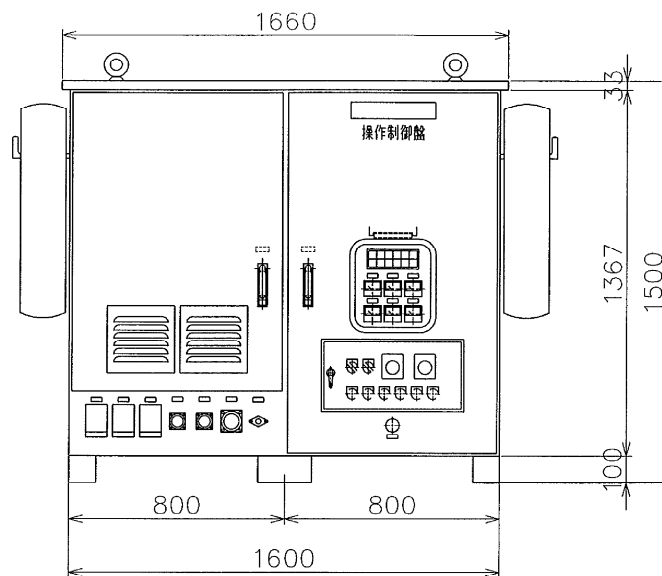
提出図書	部数	提出時期	備考
承諾図書	1部	契約後製作前	
試験成績書	1部	機器納入前	
完成図書	1部	機器納入時	取扱説明書を含む

第7章 留意事項

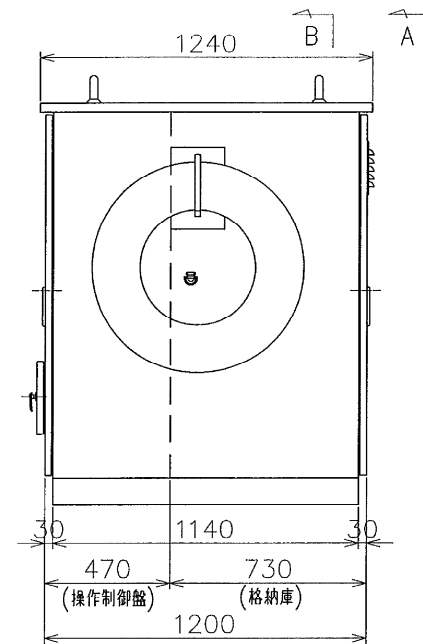
納入時に操作方法等の説明を九州農政局土地改良技術事務所の職員に行うものとする。



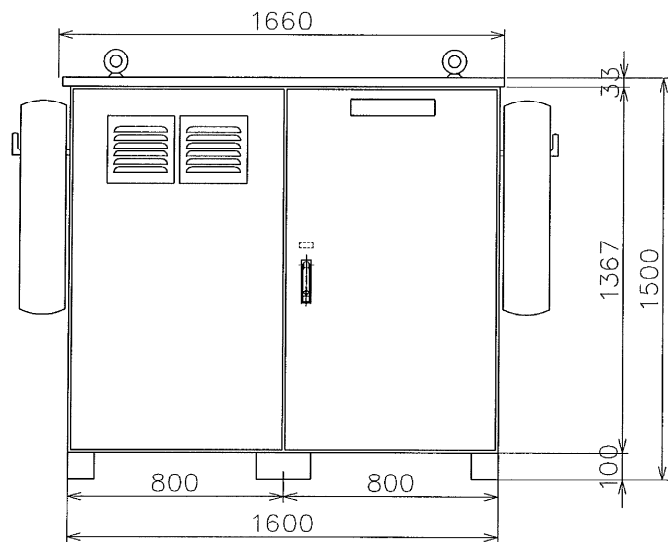
側面図



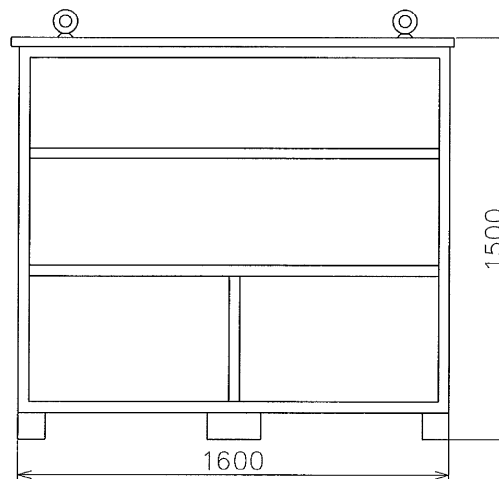
正面図



側面図



A-矢視図
背面図



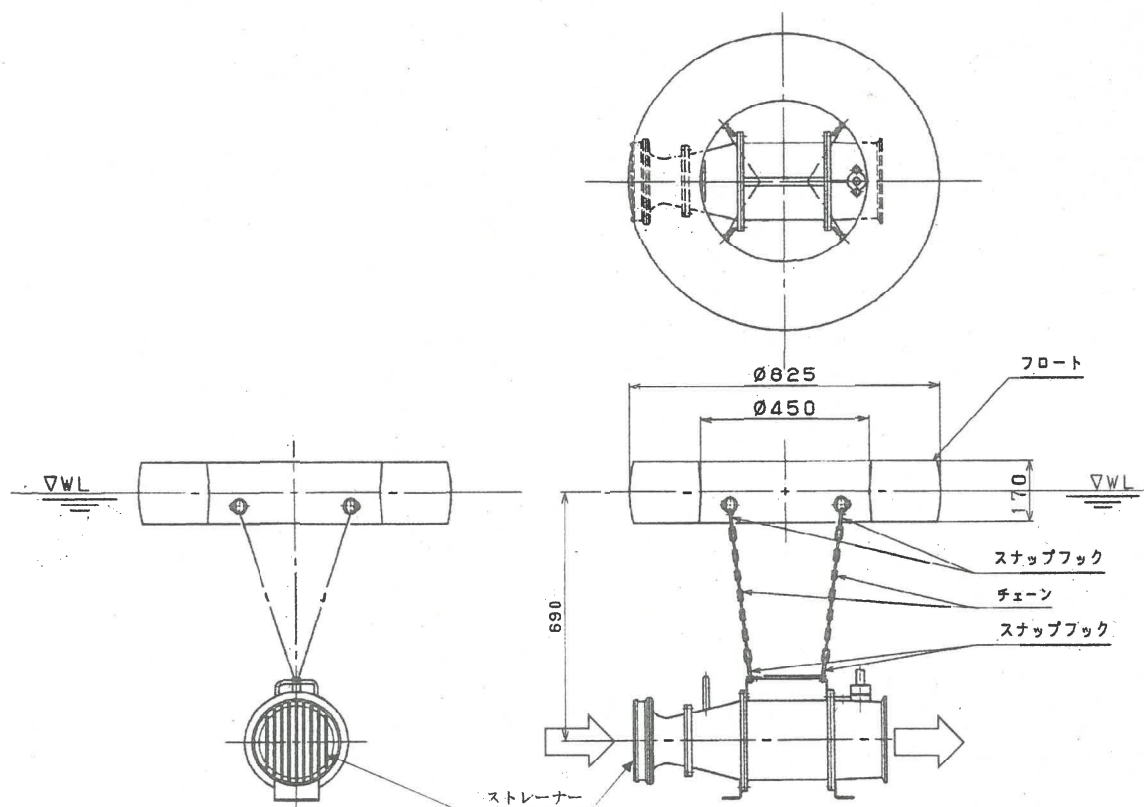
B-矢視図
(格納庫)

(参考図)

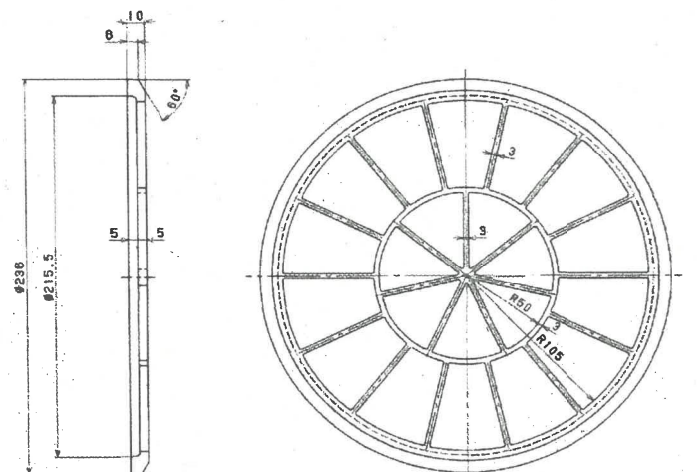
工 事 名			
図 面 名	水中ポンプ（ユニット）外形図		
作成年月日			
縮 尺	なし	図面番号	1
会 社 名			
事業（務）所名	九州農政局土地改良技術事務所		

(参考図)

水中ポンプ一般図



ストレーナー詳細図



(参考図)

工 事 名			
図 面 名	水中ポンプ図		
作成年月日			
縮 尺	なし	図 面 番 号	2
会 社 名			
事業(務)所名	九州農政局土地改良技術事務所		